学校だより第３７号

ＴＥＡＭ 伊良林

令和６年６月２５日

【自ら考え　自ら行動し　ともによりよく生きようとする子どもを育てる】　長崎市立伊良林小学校　校長　片岡 勝志

教育週間が終わりました

本校では、６月１６日から２２日までの１週間を「長崎っ子の心を見つめる教育週間」として、学校を公開しました。ご多用な中、また、足元の悪い中にもかかわらず、多数の保護者の皆様、地域の皆様に学校に足を運んでいただきました。

長崎県では、過去、５月から７月のちょうどこの時期に、子供が子供を殺傷したり、子供が自らの命を絶ったりと、とても痛ましい出来事がありました。そこで、今後このようなことが起こらないようにとの思いを込めて、平成１６年からこの時期に教育週間を設定し、命の大切さについて考えたり、学校を公開して保護者や地域の方々に学校の様子、子供たちの様子を見てもらったりするようになったのです。

● ６月１７日（月）　全校朝会（リモート）

全校児童に向け、次のような話をしました。

命はとても大事です。あなたの命は、世界でたったの一つ。一度なくすと戻らない。ゲームでは、例えば３つの命を持っていて、なくなってももう一度挑戦できるというようなものがあるかもしれません。また、特別なアイテムを手に入れたら復活するかもしれません。たとえゲームオーバーになってもリセットすれば何度でもやり直しができます。けれど、あなたが持っている本物の命には、アイテムもリセットボタンもありません。一人一つしか持っていないのです。そして、一度なくすと決して元には戻ることはないのです。だから、自分の命は自分でしっかり守ること、そして自分の命と同じように友達の命も大切にしなければならないのです。

では、「命を大切にする」とはどんなことをすることでしょう。これは、いろいろあります。まずは事件や事故に遭わないように注意すること、体を丈夫にするために健康に気をつけた生活をすることです。そして、普段の一時間一時間、１分１秒の時間を大切に過ごすこと。学校では、いろんな友達とつながり、一緒に学んだり、笑顔で過ごしたりすることが、命を輝かせること、命を大切にしていることになります。また、自分の命が大事なように、他の人の命も大事にしなければなりません。人に迷惑にならないようにすること、人を傷つける言葉などを言わないようにすることも大切です。・・・・

● ６月１８日（火）　音楽集会

本校では、学校生活のあらゆる場面で「歌をうたう」機会を設定しています。本校の教育活動の特徴の一つです。５．６年生が音楽委員会をつくって活動しており、その音楽委員会のリードのもと、毎月全校児童が体育館に集まって歌をうたっています。今月は、「虹」という歌を振り付きでうたいました。今回は、５年２組の子供たちがステージの上でうたってくれました。（ステージ下の楽器演奏は音楽委員会）

● ６月２０日（木）　１００人パトロール

雨が降る中にもかかわらず、たくさんの地域の方々、子供や保護者の方々、桜馬場中学校の先生方に参加していただき、伊良林小学校の職員とともに２コースに分かれてパトロールをしました。

不審者遭遇や交通事故の撲滅などに向けた地域への啓発ができました。

● ６月２１日（金）　被爆体験講話

かつて小学校の先生をされていた城臺美彌子先生に、自らの被爆体験や戦争の頃の様子について話をしていただきました。子供たちは、命の大切さやどうすれば平和な世界が実現できるかなどについて考えました。

● ６月２２日（土）　メディア学習

２時間目に、情報モラルやメディアについての学習をしました。右の写真は、５・６年生の学習の様子です。長崎県メディア安全指導員の先生から「ゲームのし過ぎが体にどのような影響が出るのか」や「SNS 等の利用による様々なトラブル」などについて話を聞き、メディアの望ましい活用の仕方について考えました。